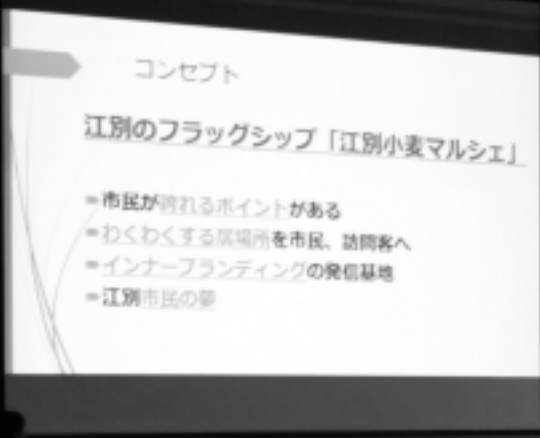


# えべつ未来づくり学生コンペへ

# 大学生が描く江別の未来像



▲第1回学生コンペでえべつ未来づくり大賞を受賞した北海道情報大学生による「食の街江別のフラッグシップ 小麦マルシェ」の提案



▲『小麦マルシェ』の提案をした川口谷さん



▲第2回の特別賞に輝いた「北海道情報大学 WHAT」



▲第2回に大賞に輝いた、酪農学園大学 RGU ドッグラン運営委員会

## 学生の視点で まちづくりに提案を

「江別をこんなまちにした  
い」、「江別にはこんな可能性  
がある」と市内の企業や学識  
者が集まる会場で、学生たち  
がそれぞれのアイデアや研  
究テーマを発表する、「えべ  
つ未来づくり学生コンペテイ  
ション（以下、学生コンペ）」。  
平成26年からスタートし、江  
別市内にある4つの大学（酪  
農学園大学、北翔大学、札幌  
学院大学、北海道情報大学）  
の学生が参加。平成31年2月  
に第3回目が開催されます。

審査員は、市長や各大学の  
学長、企業団体の代表が務め  
ます。過去の学生コンペで  
は、人とペットが幸せに暮ら  
せる環境作りとして市内に常  
設ドッグランの設置や、住み  
替え循環による地域活性化を  
目指す取り組みなどの提案が  
表彰を受け、企業関係者から  
も学生の提案に強い関心が寄  
せられました。

## 研究を通じて まちの魅力を知る

学生たちは、コンペに向け  
約半年をかけて提案内容を考  
えます。多くの学生は「市内  
の大学に通っていても、江別

のまちのことをあまり知らな  
かった」という段階からスタ  
トします。そのため、4大学  
を中心とする学生コンペ実行  
委員会により、参加学生を対  
象に、市内の産業や歴史、観  
光資源を見て回るバスツアー  
が開催されています。大学生  
にとつては、江別の特産品や  
魅力などを、大学の研究とは  
異なる視点で知ること、新  
たな発想につながり、市内企  
業や学識者の前で提案を行う  
という貴重な機会になってい  
ます。

【詳細】企画課 ☎ 381・1015



バスツアーで市内農家に指導をうけ、野菜収穫体験をする学生たち



学生コンペに向けてラストスパート!

## 提案内容リポート

学生コンペに出場する2グループにインタビューしました。

### 家庭の生ごみを堆肥化し、地域農業へ活用を



提案グループ名 Aguro-Recycler  
川村虎太郎さん 野田崇文さん

「生ごみの資源化で地域農業を活性化!」循環型社会の実現に向けて「〜」をテーマに家庭から出る生ごみの堆肥化を提案するのは、酪農学園大学に通う野田崇文さんと川村虎太郎さんのグループ「Aguro-Recycler」です。

代表者の野田さんは小学生のころ、授業で牛乳パックを使った工作を通じて、身近にあるものの再利用、リサイクルに関心を持つようになったと話します。大学でも生活に身近なりサイクルをテーマに



バスツアーで地元産野菜をしっかりと味わいます

研究を行っているそうです。学生コンペでは、家庭から出る生ごみを堆肥化し、地域農業へ有効活用する方策を研究することで、えべつ型の循環型社会を実現することをテーマに提案を練り上げています。

一緒に取り組んでいる川村さんは、野生動物など自然環境の研究を通して、循環型社会というテーマに関心を持ち、2人で協力して学生コンペで発表する予定です。



研究室で調査した膨大なデータを整理します

垣原希帆さんを代表に、6名のグループで提案するのは「誰一人取り残さないエスディジェス SDGs ハザードマップ」です。グループの学生は、地理情報システムの研究をする酪農学園大学の環境GIS研究室に所属しています。同研究室では、市内小学校で「巨大空中写真」を使った出前授業を行うなど、環境教育の実践でも活躍しています。



櫻庭菜月さん 垣原希帆さんと環境GIS研究室の先輩たち(後列)

誰もが命を守ることができる地図を作りたい

今回の提案は、垣原さんのアルバイト先での車椅子利用者介助を通じ、災害時に車椅子を使う人が自分で避難できるように、避難所までのバリアフリー情報を伝えたいと考えたことがきっかけです。また、高齢者には必要な情報が書かれた地図を、外国人には多言語語化された地図など、ニーズに合わせた地図を提供する「災害時に誰もが命を守ることができるハザードマップ」を作りたいと考えているそうです。この提案には、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)に挙げられる「災害による被災者を大幅に減らす」に貢献したいという思いも込められています。

今回の提案のため、ひとつの小学校の校区をモデルに、学生たちが地域を歩き、多くの情報を時間をかけて収集しています。

同グループの櫻庭菜月さんは、「一人一人それぞれのマップが完成したら、小学校での出前授業でも配りたい。自分の住む地域の避難地図を家族で見てもらえれば、防災意識を高めることができると思います」と話します。

## 第3回 学生コンペを開催します!

江別市内4大学の学生たちが「江別をこんなまちにしたい」というアイデアを提案するコンペティションを開催します。

学生の取り組みやまちづくりに関心のあるかたは、ぜひご来場ください。事前申込不要、直接会場へ。

主催 えべつ未来づくり学生コンペティション実行委員会  
(酪農学園大学・北翔大学・札幌学院大学・北海道情報大学・江別商工会議所・北海道中小企業家同友会札幌支部)  
詳細 同実行委員会事務局 (江別市役所 企画課内) ☎ 381-1015

日時

2/13(水)

13時~

会場

札幌学院大学  
(文京台11)  
D302 教室

